



校正証明書

依頼者

依頼者名 *****

住所 *****

被校正器

品名	*****			
形式, 製造番号	コントローラ	*****	製造番号	*****
	ロータ	*****	製造番号	*****
製造者名	*****			

校正量目 圧力 (真空)

校正方法 比較校正法

校正用標準器

品名				
形式, 製造番号	コントローラ	*****	製造番号	*****
	ロータ	*****	製造番号	*****
製造者名	*****			
管理番号	*****			

校正年月日

年	月	日	から
年	月	日	まで

校正結果は別紙のとおりであることを証明します。

年 月 日

神奈川県茅ヶ崎市萩園2500
株式会社アルバック
規格品事業部 標準校正室

校正証明書発行責任者

・この証明書は、計量法第144条（第一項）に基づくものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

・当社は、JISQ17025(ISO/IEC17025:2005)に適合しています。

・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPLAC（アジア太平洋試験所認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APLACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。

校正条件

校正気体 窒素ガス 純度99.9 %以上

被校正器のコントローラの設定は以下の通り

運動エネルギーの授受係数	σ	*****	
気体の分子量	$M =$	*****	
温度	$T =$	*****	K
ボール直径	$d =$	*****	mm
ボール密度	$\rho =$	*****	g/cm ³
粘性係数	$\mu =$	*****	$\mu\text{Pa s}$

校正環境

装置温度	*****	°C	±	**	°C
室温	*****	°C	±	**	°C
相対湿度	*****	%	±	**	%
電源電圧	AC / DC	*****	V		

校正結果

基準器の値 (Pa)	被校正器の値 (Pa)	補正係数	相対拡張不確かさ
P_s	P_c	r	(信頼水準約 95 %)

- 校正結果は ** 回の測定により得られたものです。
- 1×10^2 Pa未満はサンプリング時間30秒, 1×10^2 Pa以上はサンプリング時間10秒でした。
- 測定値はゼロ点を差し引いた値です。
- 校正時のゼロ点の平均値は ** $\times 10^{-xx}$ Paでした。
- 基準器の値 P_s 、被校正品の値 P_c 、補正係数 r の関係は以下の通りです。
$$r = P_c / P_s$$
- コントローラの入力パラメータ“TEMP”に関しては上記”温度： ** K ”のまま校正し、校正時に測定した真空容器の温度で補正しました。
- 校正の不確かさは包含係数 $k=2$ を乗じた値であり信頼水準、約95%を示すものです。

.. 以上 ..

・この証明書は、計量法第144条（第一項）に基づいたものであり、特定標準器（国家標準）にトレーサブルな標準器により校正した結果を示すものです。認定シンボルは、校正した結果の国家標準へのトレーサビリティの証拠です。発行機関の書面による承認なしにこの証明書の一部分のみを複製して用いることは禁じられています。

・当社は、JISQ17025(ISO/IEC17025:2005)に適合しています。

・この証明書は、ILAC（国際試験所認定協力機構）及びAPLAC（アジア太平洋試験所認定協力機構）のMRA（相互承認）に加盟しているIAJapanに認定された校正機関によって発行されています。この校正結果はILAC/APLACのMRAを通じて、国際的に受け入れ可能です。